

製造工業 一〇・四 一三・九 一五・二
 鉱業 六・三 八・六 一三・〇

第三表

昭和八年一月	労働人買指数(宗次)		失業状況推定月報(万人中)	
	日銀	宗次	給料生活者	日傭労働者 其他労働者
一月	七八・三	—	四七六八	一〇五二
六月	八三・〇	—	四一三	一、一二五
九月	—	—	四〇一	一、〇七四
十二月	八六・六	—	—	三六五

- 口、経済状況の本年度の展望は大略次の如くであらう。
1. 産業活動、資本利益率は軍需産業に微かなから上向し、その他の産業特に輸出品産業で下向するであらう。
 2. 全体としての労働者の失業率は漸増するであらう。
 3. 物價は日本銀行のマーケットオペレーションの破綻せざる限り著大なる騰貴を見ないであらう。

4. 定額貸銀は一層減退するであらう。
 5. 農村の窮乏は一層進行するであらう。
- 斯くて軍需インフレ打切りの際、日本資本主義は重大なる社会的危機に見舞はれるであらう。但し新らしい欧州戦争危機の急迫化北支那経済市場の成功的獲得は此の予想とは異なつた予想を主としてあらうことを注意して置く。

第四表

昭和九年度豫算解剖(單位百万円)(△印減)

一般会計歳出豫算総額	エゴノミスト	昭和九年二月十五日号
陸軍省 四四九	昭和九年度 前年比レ	—
海軍省 四八七	二、一一二	△一七九
軍費費	九三七	八六
総歳出に対する軍費割合	四四・四%	前年度の 総歳出に三六・六% 占する割合